



EAA
EAST ASIAN ACADEMY
FOR NEW LIBERAL ARTS

UIA
The Ushioda
Initiative of Arts

レクチャーコンサート 江戸後期の庄内の文人文化 金峯山空賢院の「蓮社」とその周辺

江戸時代後の庄内藩（山形県鶴岡市）には、七絃琴（古琴）を弾く武士が居た。陶淵明の「飲酒」という詩の一節に『採菊東籬下 悠然見南山』というのがある。故郷に帰り、自然と一体になって暮らす心境を詠んだものだ。詩中の「南山」とは、中国江西省九江市の南にある名山「廬山」のことで、「金峯山」も鶴岡市の南にあることから、中国の「廬山」にも例えられている。「金峯山」は、庄内の文人文化の中心地だった。通寛上人が住んだ「空賢院」には庄内藩の文人達が集い、まるで文芸サロンのような状況だったという。なぜ、江戸から遠く離れた奥州の地に、文人文化が花開いたのか。その要因について考察する。

演奏・レクチャー
山澤昭彦



【日時】 2025年9月13日（土）
15時30分～17時頃

【場所】 カフェ・パパラギ
徳島県三好郡東みよし町加茂1781

【司会】 田中有紀（東京大学東洋文化研究所）

尺八を学生時代に青木静夫（二代青木鈴慕）・横山勝也の各氏から学ぶ。

2010年からプログラム言語を使って音楽を生成する「Generative Music」のアルバムを多数制作。2015年からはコンピュータを使った映像作品と生成音楽を組み合わせた「実験音楽工房展」を東京・山形などで開催したほか、尺八古典本曲の演奏や多ジャンルのミュージシャンやダンサーとのコラボレーションなど、複合的なアート活動にも取り組んでいる。2020年から「佳興の会」をプロデュース。年4回の邦楽ライブを開催中。2022年には「酒井家庄内入部400年記念事業」の一環として七絃琴復興プロジェクトを企画推進。古琴（七絃琴）の新たな可能性を追及しながら現在も活動中。